

11月泡盛イベントカレンダー

11月1日は「泡盛の日」

■ 県内 ■ 県外

1日(金)・3日(日)

首里城銭蔵

7日(木)

札幌泡盛倶楽部

8日(金)

第12回かでな社交
泡盛まつり

13日(水)

泡盛を楽しむ会
in仙台

14日(木)

やんばる泡盛同好会

16日(土)・17日(日)

くうすの杜
忠孝蔵秋祭り

22日(金)

京都泡盛同好会

24日(日)

東京泡盛同好会

2日(土)・3日(日)

第15回 壺屋やちむん通り
祭り2019

2日(土)・3日(日)

2019 八重山の産業まつり

8日(金)

千歳泡盛同好会

14日(木)・15日(金)

大交易会

15日(金)・17日(日)

離島フェア

20日(水)

北九州泡盛を楽しむ会

21日(木)・23日(土)

第111回 太平感謝祭

29日(金)

あおもり あわもりの夕べ



第3回 泡盛 仕次古酒・秘蔵酒コンクール

ご家庭で大事にカメへ「仕次ぎ」した泡盛や、購入後秘蔵されているビンやカメの泡盛を出品してみませんか？
無料で泡盛のプロが利き酒や分析をして、自慢のお酒の品質をお知らせします。出品者には、専門家のアドバイス
コメント付きの品質評価結果を、さらに「伝統仕次ぎ」「フリースタイル仕次ぎ」部門出品者には、オリジナル木札をプレゼント！

書類
審査

令和2年1月10日 当日必着

書類審査票に必要事項を記入の上、期日までに郵送またはFAXなどにてご提出ください。
提出先：沖縄県工業技術センター 食品・醸造班あて
(〒904-2234 うるま市州崎12-2 FAX:098-929-0115)

品質
評価

令和2年3月上旬

書類審査票を通った出品品については、酒類鑑賞や泡盛の研究者が
品質評価と化学分析を行います。(評価に際し600mlを出品いただきます。)

結果発表 令和2年4月中旬

結果発表および感謝状贈呈式を行います。高品質の仕次古酒をつくられた方には、沖縄県酒造組合、
沖縄県卸売酒販組合連合会、沖縄県小売酒販組合連合会より感謝状・記念品を贈呈します。

お問い合わせ 「沖縄県工業技術センター」TEL:098-929-0111(担当:玉村)まで

主催：沖縄国税事務所・沖縄県工業技術センター・沖縄県酒造組合・沖縄県卸売酒販組合連合会・沖縄県小売酒販組合連合会・山原島酒之会・琉球泡盛倶楽部
後援：独立行政法人酒類総合研究所・NHK沖縄放送局・沖縄テレビ放送・琉球放送・琉球朝日放送・琉球新報社・沖縄タイムス社・ラジオ沖縄・エフエム沖縄

泡盛のこともっと知ろう！

泡盛検定
クイズ
1日1問！



泡盛の女王が
クイズを
出題します！

琉球王国発祥
泡盛文化の魅力に触れる

琉球泡盛の in 銭蔵

2019 年

11/1(金)▶3(日)

日時 11月1日

10:00~16:00

11月2日・3日

10:00~18:00

場所

ぜにくら すいむいかん
銭蔵/首里杜館

公園までのご案内

※混雑、収容人数に限りがありますので、
早めのご案内をおすすめいたします。

●路線バス：首里城公園入口バス停にて下車(徒歩約5分)

●モノレール(ゆいレール)：首里駅又は備後駅にて下車(徒歩約15分)

●駐車場に限りがありますので、バス、タクシー、モノレール等をご利用下さい。

お問い合わせ

首里城公園管理センター

TEL.098-886-2020

<http://oki-park.jp/shurijo/>



開催内容

●〈銭蔵〉
・琉球泡盛パネル・酒器の展示 ・琉球泡盛仕次ぎ疑似体験
・琉球泡盛47銘柄の試飲 ・琉球楽器の生演奏
・泡盛ワークショップ ※事前申込制

11/2日(土)

「琉球泡盛と琉球菓子のちょっとリッチなアフタヌーン
by 歴代泡盛の女王(クイーンズサポーター)」

講師：新里 葵(元泡盛の女王)

11/3日(日)

『泡盛で繋ぐ首里の豊かなおもてなしの世界』

講師：比嘉康二(泡盛倉庫 店主)

●〈首里杜館〉

・琉球泡盛47銘柄の試飲・販売

イベントについて詳しくは首里城公園ホームページをご覧ください。



壺屋やちむん通り祭り -2019-

「やちむんと古酒探訪」ワークショップや
プレゼントが当たる「古酒好き酒クイズ」
など様々な催しがあります！

開催日

2019年11月2日(土)・3日(日)

10時~18時

詳しくは、こちらの
QRコードより
アクセスください。



壺屋やちむん通り会
HP



壺屋やちむん通り会
Facebook

JAPAN
HERITAGE

芸能



©OCVB

泡盛

©OCVB

琉球料理



©OCVB



日本遺産認定

琉球王国時代から
連綿と続く
沖縄の伝統的な
「琉球料理」と「泡盛」、
そして「芸能」

連綿と続く
琉球文化

沖縄県はかつて琉球王国と呼ば
れ、独自の文化を形成してきた。琉
球王国は「守礼の邦」礼節を重んじ
る国」を掲げ、訪れる外国の賓客を
もてなすために礼遇を行った。
特に、中国皇帝から派遣された冊
封使節団は滞在期間が約半年間に
及ぶほど大規模だった。宴は国を挙
げての重要な行事で、冊封使をもて
なす料理や芸能に力を注いだ。そこ
で供された宮廷料理や御用酒泡盛、
宴を盛り上げた芸能は、今も沖縄の
誇りとして県民に親しまれている。
琉球王国時代に育まれた食文化
と芸能は、「世替わり」の歴史を映
しながら、連綿と続く「守礼の心」
で受け継がれている。



詳しくは
こちらから